



教育支援員

近江 美歩

◎好きな教科はなんでしたか？

学校時代に好きだった教科を強いてあげるなら体育でしょうか。勉強は好きではなく、友達が大好きでした。

教育支援員

牧野 幸枝

◎好きな給食は何ですか。

ソフト麺が好きでした。うどんより細く、でもラーメンとも違う、給食でしか食べられない麺のファンでした。今の給食では出ないのか、最近小学生に「知らない」と言われ、ちょっと寂しかったです。



ご紹介

「てをつなぐ」は、秋田県立医療療育センター内で活躍する教育専門監の教育支援員としての活動を情報発信する紙面コンテンツです。

【問合せ/令和7年度編集担当】

秋田県立医療療育センター
育成部

TEL 018-826-8025
(平日9時～17時)

「教育支援員」は県の教育委員会から医療療育センターへ派遣された特別支援教育の専門家（教育専門監）です。

子どもたち一人ひとりの成長と学びを支えるために、発達障害者支援部（ふきのとう秋田）、総合相談・医療療育連携部、育成部の職員と連携しながら、支援を必要とする子どもたちやその家族に対して、専門的な視点から助言・調整を行い、よりよい教育環境づくりを推進しています。また、現場のニーズに応じた最新の情報や支援のあり方を発信し、地域全体で支えあう体制づくりをリードしていただいています。

◎ 教育支援員（教育専門監）のお仕事について教えてください。

近江： 秋田きらり支援学校に所属していますが、医療療育センターで週5日、教育支援員として勤務しています。たくさんの保護者の方のお話を聞いていく中で、まだまだ学校が頑張らなければいけないことがたくさんあるなあと感じている毎日です。逆に学校での取り組みもたくさん発信していきたいです。

牧野： ふきのとう秋田勤務（火曜日）以外の日は、栗田支援学校や他の学校、園の訪問で、子どもの様子を見たり、先生たちの研修などを行ったりすることが多いです。ふきのとう秋田での教育相談の際はそのような経験を踏まえ、学校の実情に合わせた情報提供もできるように心掛けています。

家庭・学校・支援者をつなぐ架け橋

誰もが 安心して学べる 環境づくり

特別支援教育の視点から対応・助言します

就学に向けた不安を解消するために
～保護者勉強会での教育専門監の役割～



児童発達支援センターニコリア
を利用している保護者に向けて、
お子さんが安心して新たな一歩を
踏み出せるように、就学のための
準備と支援についてお話をしてい
ただきました。学校生活で実際に
使っている教材やツールを紹介し
ながら、保護者の視点に立った
わかりやすい内容を提供してくだ
さいました。参加された保護者の
方からは活発なご質問をいただき、
就学に対する関心の高さがうかが
えました。

地域療育支援

訪問療育支援事業（幼児教室）

男鹿市、潟上市、南秋地区の
保健師さんや天王みどり学園
の先生たちと一緒に、保育
園・幼稚園生活のこと、就学
の相談、子育て全般の悩みに
ついての相談支援に対応して
います。



医療療育センター内にポスターを掲示しています。

医療療育センターを利用しているお子さ
んやご家族からの就学や教育に関する疑
問や質問等について、教育支援員が相談
をお受けしています。

ポスターをセンター内に掲示し、教育支援員
と相談ができることをお知らせしています。
相談を希望される方は、ご利用されている
医療療育センター各部門職員までお声がけく
ださい。

